

お盆のご準備



大切にしたいご先祖様への供養。
心おだやかにお盆を迎える。



初盆の流れ

準備

6月
7月

- 寺院への依頼
- お墓、お仏壇のお掃除
- お飾り（盆棚、仏具、ローソク、線香等の準備、お墓のお盆提灯組立て依頼）
- お見舞客への返礼品の準備
- 初盆用の提灯の準備

8月

12日 お迎え始め

- 飾りつけ、お供え始め

13日 迎え盆 14日 盆中日

- お墓参り・提灯設置
ご家族揃ってお墓参りに行きます。「迎えは早く、送りは遅く」と言われています。
- 迎え火
お盆提灯に火を灯し、家の玄関先と縁側に「迎え火」を炊き、ご先祖の御霊をお迎えます。

15日 送り盆 精霊流し

- 読経
僧侶を招き、読経をしていただきます。
- 会食
親族や故人と親しい人たちを招いて、会食をします。
- 精霊流し
提灯に「送り火」を炊き、舟に乗せて川や海に流し、ご先祖の御霊をお見送ります。

お盆飾り一例



イメージ

- まずはひな壇状の盆棚を仏壇の前へ移動させます。盆棚は座卓や小さいテーブルでも代用できます。
 - 盆棚の上にはまこもの敷物を敷いて、この上に飾りを置いていきます。
 - 盆棚の四隅に笹竹を立てるようにして置き、笹竹に縄を張ります。この縄には邪を寄せ付けないための結界を張るという意味がありますが、必ずしも必要という訳ではありません。そして、この縄にはホオズキやそうめん・うどん等を吊ります。
 - 位牌を盆棚の中央部分に設置して、ナスの牛やきゅうりの馬の他、果物・野菜をお供えます。
 - 盆棚の脇には盆提灯を燈して、ご先祖様が帰ってきやすいようにしておきましょう。
- ※ 飾り方はあくまでも一例です。宗教ごとに飾り方が異なります。

座布団・座椅子・下駄箱等 レンタル致します。
飾り方含めお気軽にご相談ください。

お盆のご準備はご相談ください 仏事アドバイザーがご案内致します

よくあるご質問

- お盆の準備は何からはじめたらいいの？
- 提灯の飾り方はどうすればいいの？
- 初盆の方に何を贈ればいいの？
- お墓の提灯設置を頼みたい など。お気軽にご相談ください。



盆提灯・供養品等常時展示中

お盆前のご準備相談を承っております。
何をどうすればよいのか、飾りはどのようにすればよいのかなど、特に初盆をお迎えられます方はぜひこの機会にご相談ください。他社での葬儀後のことでも承ります。
また家紋入り提灯・灯笼等やお盆参りをされた方への「供養品」など、様々な商品とお盆に必要な仏具を「メモリアル翔久ルーム きずな」にて、常時展示致しております。

[製造元]

提灯製造販売

株式会社 翔久

〒859-2202 南島原市有家町山川86番地5
TEL.0957-82-2510 FAX.0957-82-3991
URL: <http://www.shokyu.jp>

[販売代理店]



初盆用 切子灯籠・丸提灯 ご予約承り中

※家紋入商品は製作に多少のお時間をいただきますので、お早めのご注文・ご予約をお願い申し上げます。

新商品 『切子灯籠ショート』

核家族化や
住宅事情による狭小化、
担ぎ手不足の問題を解消
小型の切子灯籠となります。

レギュラーサイズより
55cm短く、コンパクトになり
配送可能となりました



ショートサイズ(中)
長さ110cm
3,300円(税込)



配送可能
※送料別途

のし無料で承ります。



レギュラーサイズ(大)
長さ165cm
3,850円(税込)

翔久オリジナル

切子灯籠・丸提灯

※ご注意…レギュラーサイズ(大)は配送ができませんので、直接引き取りまたは弊社スタッフの配達となります。
※FAXおよび郵送(封書)でお使いいただけるご注文書弊社ホームページにご用意しております。
ダウンロード・印刷してご使用ください。

初盆ギフトセット



イメージ

初盆線香セット

※2種類あります。

11,000円(税込)

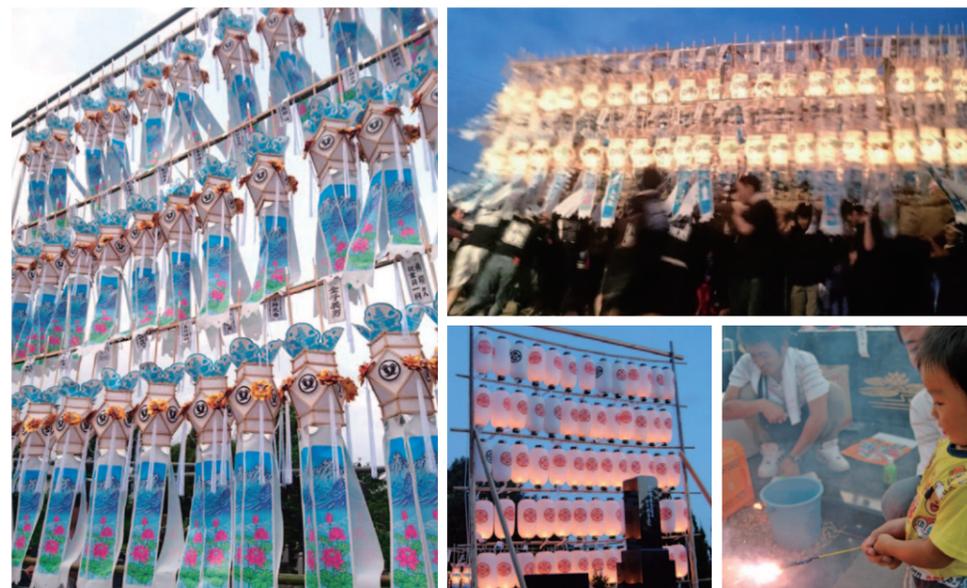
16,500円(税込)

※ご要望・ご予算に応じてお作り
することもできます。
お気軽にご相談ください。



丸提灯(長さ65cm)

※仕様等変更する場合があります。
価格についてはお気軽にお問合せください。



島原半島伝統の 切子灯籠

島原半島のお盆

島原半島では、8月15日に竹とワラで作った精霊船に切子灯籠を飾り付けた島原独特の精霊流しが有名です。親族や自治会などで作っていたのですが、核家族化や作り手の高齢化などもあり、数は減少傾向にあります。

また、南島原地方では、特に初盆を迎えられるご家庭は家族・親族、故人と親しかった方々が集まり、故人の供養としていただいた丸提灯をお墓の前に飾り、お寺様に御供養をしていただきます。

お盆の期間は会社や学校などもお休みのところが多いため、故郷を離れている人が帰郷する機会も多いことでしょう。

普段、お墓参りになかなか行けない人も、日頃のお礼の気持ちをご先祖様に伝えるいい機会です。お盆行事は、家族や一族が集まりご先祖を供養し、亡くなられた人を偲ぶ機会であってほしいものです。

私たちが1つ1つ想いを込め自社製作しております



“お客様との絆”“島原の伝統”を大切にしながら、次の世代へ繋げていきたい!

弊社では、創業当初から、島原半島伝統の切子灯籠の製作に携わらせていただいています。私の夏休みの思い出といえば、7月下旬～8月のお盆前までは切子灯籠づくりのピークを迎え、手伝いによくかりだされてきました。

故人様を偲ぶ島原の伝統文化「精霊流し」。葬祭業を営む弊社としましては切子灯籠製作でご遺族様に寄り添い、この文化を大切にしながら、次の世代へ繋げていくことが使命だと考えています。



製造元
株式会社 翔久
専務 原田 翔哉